

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-254	15-328	慶應義塾大学
題名(原題/訳)		
Intensive Enteral Nutrition Is Ineffective for Patients With Severe Alcoholic Hepatitis Treated With Corticosteroids. 集中的経腸栄養法はコルチコステロイドを用いた治療を受ける重症アルコール性肝炎患者に効果がない。		
執筆者		
Moreno C, Deltenre P, Senterre C, Louvet A, Gustot T, Bastens B, Hittelet A, Piquet MA, Laleman W, Orlent H, Lasser L, Serste T, Starkel P, De Koninck X, Negrin Dastis S, Delwaide J, Colle I, de Galocsy C, Francque S, Langlet P, Putzeys V, Reynaert H, Degre D, Trepo E.		
掲載誌		
Gastroenterology. 2016 Apr;150(4):903-10.e8. doi:		
キーワード		PMID:
肝硬変; エタノール; 肝臓病; 栄養		26764182
要旨		
<p>背景及び目的: 重症アルコール性肝炎(AH)は、十分な経口的栄養補給が推奨される致命的な疾患である。我々は、コルチコステロイドと集中的経腸栄養療法の組合せが重症 AH の患者でコルチコステロイドだけの療法より効果的かどうか決定するために、無作為対照臨床試験を行った。</p> <p>方法 我々は、2010年2月から2013年2月までベルギーの18病院、フランスの2病院で最近の発症の黄疸と生検で確認された重症AHの大量飲酒者の患者(年齢18-75歳)136人を登録した。被験者は、集中的経腸栄養補給にメチルプレドニゾロンを加えた療法、または従来の栄養療法にメチルプレドニゾロン(対照)を加えた群にランダムに1対1に割り当てた。集中的経腸栄養法群においては、経腸栄養法は14日間栄養チューブで投与された。第1エンドポイントは、6ヵ月間の患者の生存であった。</p> <p>結果 治療企図解析(intention-to-treat analysis)において、我々は6ヵ月の累積死亡率で両群間に有意差を見つけないかった:経腸栄養法群(95%信頼区間[CI]、32.2%-55.9%)で患者の44.4%は死亡し、対照群では52.1%が死亡した(P = .406)(95%CI、39.4%-63.4%)。48.5%の患者で早期にチューブが中止された、そして、5名の患者で経腸栄養法に関連があると考慮された重篤な有害事象が経腸栄養群で起きた。群に関係なく、1日カロリー摂取量が21.5kcal/kg/日未満の患者は、カロリーをより大量に摂取している患者に比べてより多く死亡した(65.8%;95%CI、48.8-78.4)(33.1%;95%CI、23.1%-43.4%)(P<.001)。</p> <p>結論: コルチコステロイドを用いた治療を受ける重症 AH を有する患者の無作為試験では、集中的経腸栄養法を実施することが困難であり、生存を増加させなかった。しかしながら、1日摂取エネルギーが低い群はより大きな死亡率と関係していたので、十分な栄養摂取が治療のための主な目的でなければならない。</p>		